

平成 22 年 3 月 31 日現在

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2008～2009

課題番号：20730351

研究課題名（和文）社会的ネットワーク指標の妥当性・信頼性についての実証的研究

研究課題名（英文）Empirical Research on Validity and Reliability of Social Network Measurements

研究代表者

菅野 剛（SUGANO TSUYOSHI）

日本大学・文理学部・准教授

研究者番号：10332751

研究成果の概要（和文）：社会科学において理論的・実証的に重要な社会的ネットワークは、測定方法がまちまちであり、このため先行研究の知見が一致しないことがある。そこで様々な指標の信頼性・妥当性について調査研究を行った。特に、桐生市、吹田市、世田谷区、府中市といった都市度が異なる地域調査データを用いて、社会的資源と密接であるポジション・ジェネレータについて、調査地域に依存しない妥当で信頼できる指標測定について明らかにした。

研究成果の概要（英文）：Social network analysis is important in social science, however, there are many so different kinds of measurements and variables. Several empirical findings on social network tend to be inconsistent. The purpose of this research is to clarify validity and reliability of measurements on position generator items. Confirmative factor analysis supported measurement invariant model in random sampling survey conducted at Kiryu, Suita, Setagaya and Fuchu in Japan.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	300,000	90,000	390,000
2009年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,200,000	360,000	1,560,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学・社会学

キーワード：社会的ネットワーク，社会階層，測定，社会調査，都市度，地位ジェネレータ，地域調査，生活の質

1. 研究開始当初の背景

人々の社会的ネットワークを測定するためには、ネーム・ジェネレータ、地位ジェネレータ、資源ジェネレータ等がある。特に、簡便で効率の良いことから、地位ジェ

ネレータが頻繁に使われるが、質問項目・選択肢についての基準は国内外で存在せず、それぞれの調査で個別に測定されている。

近年、社会関係資本やソーシャルキャピタルと言った重要なテーマに関連して研究が蓄積しているが、用いられている指標に

(2) 様々な社会的ネットワークの指標のうち、ポジション・ジェネレータ、資源ジェネレータなどについて、群馬県桐生市、大阪府吹田市、東京都世田谷区といった都市度の異なる地域データを比較し、検討を行った。社会的ネットワークの規定因については、ポジション・ジェネレータによって測定されたネットワークに対して、都市度が高いほど、年齢や学歴の効果が強くなる傾向が見られた。

また、生活満足や階層帰属などによって表される生活の質に対して、社会的ネットワークが一定の効果を有していた。都市度・社会階層と、社会的ネットワークとの関連の大きさについては、都市社会学の文脈では都市度の効果が強めに分析結果に表れ、階層論の文脈では社会階層変数の効果が強めに分析結果に表れるという興味深い傾向があるが、この点についても地域調査データと全国調査データを用いて分析を行った。複数の地域調査データを集めての比較分析と、全国調査データをサンプリング地点の人口規模などによって都市度へ分ける比較分析とは、都市度として用いられる変数の中身が異なるため、都市度の効果の強さについては、慎重に解釈すべきであることが示唆された(表1、表2)。このことは、国内外のネットワークについての先行研究において知見がしばしば一致しないという問題について、重要なポイントとなる可能性がある。

表1 社会的上層との交際についての重回帰分析(桐生市・吹田市・世田谷区)

	Model1	Model2	Model3
Intercept	1.043 (31.6371)***	1.135 (9.5921)***	-0.1889 (-0.9467)
吹田ダミー	0.1181 (2.579)***	0.1181 (2.5511)**	0.0286 (0.6085)
世田谷ダミー	0.3389 (6.5771)***	0.3478 (6.6062)***	0.15 (2.7269)***
性別		-0.0712 (-1.7619)*	0.0068 (0.1661)
年齢		0.0004 (0.2399)	0.0043 (2.3393)**
学歴			0.0696 (7.0382)***
世帯年収			0.0002 (5.2896)***
R ²	0.0285	0.0308	0.098
Adjusted R ²	0.0272	0.0282	0.0942

表2 社会的上層との交際についての重回帰分析(全国)

	Model1	Model2	Model3
Intercept	0.662 (27.3983)***	0.4748 (6.5908)***	-0.3876 (-2.6541)***
市10万未満	-0.0307 (-0.6139)	-0.0145 (-0.2947)	-0.0335 (-0.5945)
市50万未満	-0.1303 (-3.46)***	-0.1129 (-3.0471)***	-0.1449 (-3.4203)***
市50万以上	-0.1439 (-3.8592)***	-0.1202 (-3.2733)***	-0.2019 (-4.9311)***
性別		-0.1528 (-5.297)***	-0.1286 (-3.9443)***
年齢		0.0089 (8.2412)***	0.0122 (8.5743)***
学歴			0.0463 (6.1547)***
世帯年収			0.0002 (7.6636)***
R ²	0.0074	0.0418	0.0959
Adjusted R ²	0.0063	0.04	0.0928

都市度に関連する形でネットワークへの諸変数の効果の大きさが変わる点や、ネットワークへの都市度の効果の大小が調査枠組みによって異なる傾向については、より様々な都市度の地域データを含める形で慎重に分析を行う必要がある。そこで東京都府中市において実施した無作為抽出郵送調査を新たに加え、都市度、人口分布、職業分布、特徴が異なる地域調査についての比較分析ができるようにデータ整備を進めている。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表] (計2件)

① SUGANO, T. “Measurements of Social Capital in Social Stratification Surveys in Japan.” The Social Capital Foundation 2008 Conference. 2008.9.20. Republic of Malta.

② 菅野 剛 「地域社会における社会的ネットワークの測定」日本大学社会学会. 2008.7.12. 日本大学文理学部.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

菅野 剛 (SUGANO TSUYOSHI)
日本大学・文理学部・准教授
研究者番号：10332751

(2)研究分担者
なし

(3)連携研究者
なし